

Liberal Arts Letter for Freshmen



ハイライト：教養教育——〈学びの経験〉ということ

マッコリー大学留学体験記

日本語検定3級結果及び日本語検定2級の挑戦者募集について

SNS利用のマナーについて

キャンパスマナーについて

教養教育——〈学びの経験〉ということ

みなさんが本学に入学して早くも半年が過ぎました。長い夏休みを経て、大学生であることを実感した人も多いことでしょう。再び日々の授業・学修が始まりますが、後期の授業の開始にあたり、教養科目について私なりの考え方を述べたいと思います。

学生諸君の教養科目に対する評価は、はっきりいって芳しいとはいえません。「役に立たない」「必要ない」「専門に關係ない」など、さまざまな声が聞こえてきます。

しかし、教養科目あるいは教養教育に関して、それがすべて役に立つとはいえないにしても、何らかの意味を持つてくるのは、みなさんが社会人となってからです。社会に出れば、さまざまな知識・教養の必要性を否応なく思い知らされる時は必ずあります。「興味ないから」

「關係ないから」と思っていること自体が恥ずかしいと感じることもあるでしょう。大学における教養教育の評価は、その時点でなされるべきだと思います。

たしかに、教養科目に関心が向きにくいのは、さしあたり興味のないことも学ばねばならないこと、語学を除けば、学んだ知識がすぐに使えるとは限らないという理由があるでしょう。

かつて慶應義塾大学塾長を務めた小泉信三は「すぐ役に立つことは、すぐ役に立たなくなる」と言いました。最近よく聞く言葉ですが、教養の本質を穿った至言だと思えます。これは逆にいえば「すぐに役に立たないことでも、いずれ役に立つことがある」ということです。マニアックな喩えになりますが、囲碁や将棋

のプロ棋士の対局では、素人目にはあまり意味のなさそうな一手が見られることがあります。解説者はよく「ぼんやりした手」とか、「何かの時に…」と、局面が先に進んだ時に展開次第でその一手が意味を持つてくるという説明をします。ルールを知らないといわりにくいかもしれませんが、教養科目もそのような可能性を秘めた一手に喩えてみるができると思います。

教養教育とは、すぐに使える役立つ知識を得るというよりも、将来さまざまなことに興味を持つきっかけをつくることであると私は考えます。「この分野・科目を学んだことがある」という〈経験〉が重要ということです。では、その〈経験〉をどうするか。

人生のさまざまな場面でうまく対応するには、頭の中に数多くの「引出し」を持つ必要があります。その引出しの中に〈学んだ経験〉を植物の種子に見立てて蒔いておくというのはいかがでしょうか。将来、必要性を感じた時、関連する引出しを開けてみる。開ける引出しがあるだけで、すでにきっかけはできていることとなります。中身が消えていたら再び学んで入れ直せばいい。ひょっとしたら、引出しを開けた時、かつて蒔いた〈経験〉の種子が知らぬ間に大きく育っているかもしれません。

若いみなさんは数多くの引出しを用意できるはずですが、それが豊かな人生へとつながることを願っています。



大学教育・学生支援機構
教育基盤センター運営委員会
教養教育部会長
高山利弘

目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 教養教育——〈学びの経験〉ということ | 1 |
| グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コースが本格スタート | 2 |
| マッコリー大学留学体験記 | 2 |
| TOEIC-IP, VELC, TOEFL-ITP 試験 | 2 |
| 日本語検定3級結果及び日本語検定2級の挑戦者募集について | 3 |
| 学生と学長との懇談会を開催 | 3 |
| SNS利用のマナーについて | 3 |
| キャンパスマナーについて | 4 |
| 「教務システム2014」に関するお知らせ | 4 |
| 「まゆだま広場」は元気な女性の交流の場 | 特 |
| 台風等自然災害における休講等について | 特 |



グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コースが本格スタート

群馬大学では、本学の学生が「自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人」となるよう、グローバルフロンティアリーダーの育成に力を入れています。

その一環として、平成25年度から医学部・理工学部が連携した「医理工グローバルフロンティアリーダー

（GFL）育成コース」を設置しております。平成27年度からは、教育学部・社会情報学部が連携した「教育・社情グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」が加わり、全学部で、「国際社会において活躍するトップリーダー」の育成が開始されます。

平成26年度は、29名の学生を選抜し、スタートガイド

ンスを実施後、オーストラリアへの短期留学やグローバル交流セミナー・サマーセミナーを行いました。後期からは「トップリーダー講演会」、「英語の特別授業」、「先端研究紹介講座」や「企業訪問&先輩ゼミ」などの特別プログラムを用意しております。コース所属以外の学生も参加できる場合がありますので、掲示等でご案内いたします。

※コースの詳細は、学生センター②番窓口へお問い合わせください。



マッコーリー大学留学体験記

2014年2月17日～3月14日 マッコーリー大学（豪州）英語研修プログラムに参加した塚本さんに体験記を寄稿いただきました。

◆はじめに

2月半ばから3月半ばにかけてオーストラリアのマッコーリー大学に留学しました。留学した理由は単純に英語力を上げたいというのもありましたが、様々な国の人と話してみたい、友達になって話したいという思いから多文化であるオーストラリアへの留学に決めました。

◆ホストファミリー

私のホストファミリーはマザー、ブラザー、シスターの3人でした。食事では毎日肉がたくさんあってスパゲッティやチャーハン、野菜炒めのようなものなどあらゆるものに大きな肉がついていました。どれも美味しくても今でも食べたくありません。マザーとは漢字の話をよくしました。日本と中国語では同じ漢字なのに意味や感じの違うものがあってそれを英語で言い合っていました。文化の違いが感じられておもしろかったです。

◆学校での生活

今回は語学研修ということだったので、英語の授業だけが行われました。クラスは日本人半分、タイやモンゴル、中国、韓国、アラビアの人達が残り半分という感じです。授業を受けていて感じたことは、自分も含めて日本人はスピーキング力がないことです。自分の文法が合っているかよりも、まず口に出して話すことがスピーキング上達のカギだと身をもって感じました。失敗は成功のもと！

◆観光

オーストラリアでできた友だちと海やオペラハウス、動物園やクルージングにいきました。夜のクルージングは初めての経験で綺麗な海と輝くオペラハウスに魅了されました。

◆まとめ

この留学を通して私が一番感じたことは自分から積極的に活動することの大切さです。英語を話すときもとにかく自分から喋ること。何も話さなければ何も相手には伝わらないということを学びました。勉強や運動、何にしても目標をまず持ったら真っ先に行動することをこれから心がけていきたいです。



理工学部
総合理工学科
2年 塚本拓野

TOEIC-IP, VELC, TOEFL-ITP試験

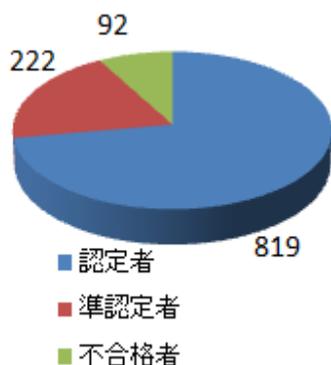
本学は、グローバル化時代の多様なニーズに応えるため、幅広い国際的視野を備え社会で活躍できる人材を育成することを理念として掲げており、その基礎として英語力の強化を図っています。

平成26年度入学生全員を対象に、「TOEIC-IP」、

「VELC」試験を1月中旬以降に実施する予定です。また、「TOEFL-ITP」試験を平成26年12月中旬に予定しています。各学部ごとに試験が異なります。10月下旬以降に掲示板でご案内しますので、ご確認ください。

日本語検定3級結果及び日本語検定2級の挑戦者募集について

平成26年度 日本語検定結果(人数)



平成26年5月14日(水)に行われた日本語検定3級試験は1,133名が受検しました。レベルは「高校卒業程度」で検定内容は日本語の総合的な運用能力を測るため、6つの領域(「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」)から幅広く出題されました。

受検の結果、認定者は819名(72.3%)、準認定者は222名(19.6%)、不合格者は92名(8.1%)でした。「文法」「表記」「漢字」の正答率が高く、「敬語」の正答率が低い結果になりました。受検者は個人カルテの領域別所見を参考に今後、実践的な日本語力を身につけてください。

また、3級認定者の中から日本語検定2級の受検生を募集します。2級のレベルは大学卒業程度ですが「学びのリテラシー」で学習したことや、自分の日本語力の確認のため、将来の就職のためなど日本語検定2級に挑戦してみませんか。募集人数は、日本語検定3級認定者のうち学部1年生40名。

募集は10月1日(水)～15日(水) 9:00～17:00まで学生センター教務課2番窓口で先着で受付します。

試験日は11月12日(水) 16:00～17:30を予定しています。

学生と学長との懇談会を開催



高田学長が自身の学生時代について話している様子

平成26年7月22日(火)に新入生を対象とした「学生と学長との懇談会」を開催しました。

懇談会出席学生は98名で、大学教職員は高田学長、石川理事、教育基盤センター教養教育部会高山部会長、メディアセンター久米原教授や事務局の部課長が出席しました。

高田学長から「若い時は失敗することが沢山ありますが、もう一回そのような場面になったら冷静に判断でき、そうすれば道が開けてきます。ぜひ若いうちから、出来ないと決めずにチャ

レンジしてください。」と自らの経験について語り、「群馬大学では、みなさんが活躍できるよう教育を行っているので、真正面から受け止め、社会の有能な人材になるようがんばってください。」と語りました。その後、学生から「希望した講義が必ず履修できるようにしてほしい」、「トイレに荷物置を設置してほしい」など講義や施設整備に関する要望について、意見交換を行いました。

学生からの意見等は関係部署で検討し、改善していきます。なお、この回答内容は学生掲示板に掲示しますので各自ご覧ください。

SNS利用のマナーについて

Facebook, Google+, LINE, Twitter, mixiなどのSNS (social networking service) は、非常に便利なツールですので、皆さんの中にも利用者がありますが、安全性には疑問があります。SNSを利用する際には次のような点に注意して下さい。

①ネット上のコミュニケーションはみんなに見られているので、他人を誹謗中傷することがあってはなりません。②オンライン上に公開している情報は誰でも簡単に入手できるので、プライバシーや肖像権、個人情報に関するものを公開する際は注意が必要です。③パスワードは破られにくいものを使っ

てください。

SNSには多くの利用者がいるので、攻撃者に狙われやすいところです。知らない人からの「友達リクエスト」には安易に承認しないで下さい。「SNS上の友達」からのメッセージ内のリンクを安易にクリックしてはいけません。予期しないサイトに誘導される可能性があります。短縮URLは本来のURLを確認してから応答して下さい。扇情的であったり、表現が誇張されたメッセージには安易に与しないで下さい。

キャンパスマナーについて

【飲酒】

未成年者の飲酒は法律で禁止されています。また、未成年者の飲酒は成長期にある脳の神経細胞への影響が大きく、成長障害等への危険性が高くなりますので、未成年者は絶対にお酒を飲んではいけません。

また、成人になった場合も、適量を超えると肝臓や膵臓などの臓器障害にも陥りやすくなります。また、イッキ飲みなどで急激にアルコールを摂取すると血液中のアルコール濃度が急激に高くなり、呼吸中枢が麻痺して最悪の場合は死に至る場合もあります。アルコールを受け付けない体質の者もいますので、お酒の無理強いはもちろん、イッキ飲みは絶対に行わないでください。後輩や仲間に対する、会合への参加及び飲酒の強要はしてはいけません。執拗又は悪質な場合は、厳しい処分を受けることになります。

【喫煙】

未成年者の喫煙は法律で禁止されています。

また、成人になった場合も、喫煙は自身の健康被害だけでなく、受動喫煙により他人にも迷惑を掛けますので禁煙を心掛けましょう。やむなく、喫煙する場合は必ず決められた喫煙コーナーでマナーを守るようお願いいたします。(なお、昭和キャンパスは構内全面禁煙です。)

【騒音】

社会を構成する大学の一員として、近隣住民に迷惑の掛からない行動を心がけてください。大変残念なことでありますが、毎年、近隣住民等から騒音苦情が大学に寄せられてきます。特に夜間帯での大声、自動車、バイクの音などは注意してください。なお、構内での花火やバーベキューは禁止です。

【危険ドラッグ】

危険ドラッグの乱用者が犯罪を犯したり、重大な交通事故を引き起こす事件が後を絶たず、深刻な社会問題となっています。一時の興味本位等の安易な気持ちから大学生活やその後の人生が台無しにならないよう絶対に買わない、使用しないでください。

【自転車通学時のマナー】

朝夕の通学時には多くの歩行者とともに多数の自転車を見かけます。スピードの出し過ぎや、見通しの悪い交差点での走行には十分に注意してください。

【駐輪場】

たった1台の違法駐輪のために多くの方が迷惑しています。特に通行帯への駐輪は歩行者、障害者の妨げだけでなく、命に関わる緊急時の救急、消防活動や災害時の避難の妨げにもなります。自転車は必ず決められた場所に駐輪してください。

「教務システム2014」に関するお知らせ

①「教務システム2014」には、重要な連絡(新着メッセージやお知らせ等)を携帯電話等のメールアドレスに転送する機能がありますが、災害発生時の安否確認等に活用するため下記の期日から転送先のメールアドレスを全学Gメールに統一します。

既に、「教務システム2014」に携帯電話等のメールアドレスを登録した学生も全学Gメールに切り替わります。

したがって、携帯電話等のメールアドレスを登録していた学生は、全学Gメールの転送設定を行ってください。

なお、転送設定方法は、「教務システム2014」の「お知らせ」に掲載しましたので、ご覧ください。不明な点は、学生センター2番窓口へお問い合わせください。

※切替日 平成26年10月1日

②平成26年度前期の成績は、「教務システム2014」にログイン後、「履修・成績情報」メニューで参照できますので、各自確認してください。

③教養教育科目の履修登録は、「聴講届」の提出と「履修登録」(教務システム2014への入力)を両方行うことによるのみ認められます。したがって、「履修登録」をしていない授業科目(開放専門科目も含む)については、単位は認定されませんので注意してください。

なお、「履修登録」後は、入力漏れ等がないか「履修時間割表」を必ず確認してください。

※「聴講届」受付期間 及び「履修登録」期間
後 期 10月1日(水)～10月16日(木) 厳守
抽選科目 10月7日(火) 18時までに登録

大学教育・学生支援機構

発行元 学務部教務課

〒371-8510

前橋市荒牧町4-2

電話: 027(220)7128

FAX: 027(220)7620

Webサイトもご覧ください。

<http://www.gunma-u.ac.jp/>

[html_campus/for_student_0_1.html](http://www.gunma-u.ac.jp/html/campus/for_student_0_1.html)





「まゆだま広場」は元気な女性の交流の場



男女共同参画推進室
コーディネーター 講師
長安めぐみ

「まゆだま広場」(男女共同参画推進室)の看板を見たことがありますか?この部屋は今年の春にオープンしました。女性研究者研究活動支援事業「まゆだまプラン」を通して、女性たちに元気で活躍してもらうための大学の仕組みづくりに取り組んでいます。

群馬大学的女子学生の割合は、**39%**、大学院生になると、少し減り、**23%**になります。それに対して、女性の教員の割合は、**16%**です。学生に比べてかなり少なめです。この女性の在籍比率は、学部や学科によってもかなり差があります。

女性の数の増加だけでなく、大学が指導

的立場への登用を積極的に進めることで、女性のリーダーを増やし、その活躍を「見える化」し、先輩ロールモデルを身近な存在として学生の皆さんに感じてほしいと願っています。また、男性にも、パートナーシップと両性の平等の視点からワーク・ライフ・バランス講座等の身近な啓発活動を広げています。

ジェンダーの格差の解消をメインストリームと言いますが、女性が自身の人生の主人公として、自分らしく社会で活躍していくこと、そして、誰にも優しい魅力的な大学にしていくために、各キャンパスのまゆだまランチミーティング等、学生も気軽に参加できるいろいろな企画をしています。

「まゆだま通信」やホームページでも情報を発信していますので、ぜひ、気軽に訪ねて来てください。**11月18日**には、荒牧キャンパスで、地域連携に向けたシンポジウムを開催予定です。



↑ 昭和「まゆだまランチミーティング」、ロールモデルとして女性の教員が語ります。
→ 全学「まゆだまランチミーティング」、女性の教員と大学院生が交流しました。



台風等自然災害における休講等について



台風等自然災害により、本学が所在する地域に暴風、暴風雪、大雨、大雪等の警報(特別警報を含む。)(以下「警報等」という。)が発表された場合や不測の事態が生じた場合、学生及び関係教職員の生命の安全確保と事故防止のため、授業及び定期試験(以下「授業等」という。)を休講等にすることがあります。

休講措置とする場合は、その都度、本学のホームページ等によりお知らせしますので、群馬県内に接近

する台風等の気象情報が出された場合は、本学のホームページ等を確認してください。

※警報等が発表されていても、休講としないこともありますので、ご注意ください。

大学教育・学生支援機構

発行元 学務部教務課

〒371-8510

前橋市荒牧町4-2

電話: 027(220)7128

FAX: 027(220)7620

Webサイトもご覧ください。

<http://www.gunma-u.ac.jp/>

[html_campus/for_student_0_1.html](http://www.gunma-u.ac.jp/html/campus/for_student_0_1.html)

